

# 給食会たより

令和5年度第5号  
(公財)熊本市学校給食会  
R5.10.31 文責：本郷

## きゅうい圃場視察

10月20日に西区にある胡瓜の圃場視察を行い、熊飽野菜生産者連絡協議会の坂本さんにお話を聞かせていただきました。



【坂本さん】

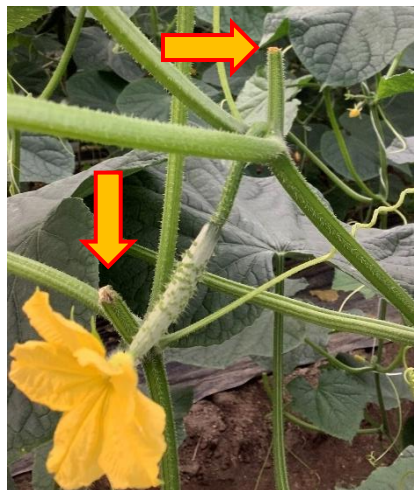


【ビニルハウスの圃場】

- 夏、水田のように圃場に水を張り、ハウスを締め切って太陽熱で熱消毒(約80℃)する。
- 9月中旬に南瓜に胡瓜を接木した苗を定植し、約1カ月で収穫を始め12月に終了する。その後、土を耕し、1月に2回目の定植を行い4月まで収穫する。
- 1週間に1回位マルチの下にある穴の開いた管を使って液肥と灌水をする。
- 苗が30cm位に生長したら、ひもを使って、茎を2本仕立てに導いていく。
- 樹勢を保つため芽かきをして不要な脇芽をとる。光が全体に当たるよう葉かきをする。
- 大・中・小・規格外に選別しながら実を手でちぎる。一株から約100本の胡瓜が穫れる。
- 生長に適温な25℃にハウス内温度を設定し、自動でビニルを開閉して温度を調整する。寒さ対策として11月からはハウスのビニルを二重にし、12月からはボイラーをたく。



【茎にひもを絡めて上で結ぶ】



【芽かき】



【収穫前の胡瓜】

「後でたいへんにならんよう、計画的に仕事はせんといかん。」と言われる通り、2本仕立て、芽かきなど坂本さんの仕事は一つ一つ丁寧でとても細やかでした。

最後に、収穫体験をさせていただきました。表面にチクチクするとげのある新鮮な実をちぎると、その部分から水滴が膨らんできました。胡瓜の木が瑞々しいのがよく分かりました。